

平成25年度

第3回阿波市教育委員会定例会会議録

阿波市教育委員会

平成25年度第3回阿波市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成25年7月1日(月)
開会 午後3時00分
閉会 午後4時30分
- 2 場 所 吉野支所 2階会議室
- 3 出席委員
委 員 長 安 田 佳 子
委員長職務代理者 重 清 由 充
委 員 大 村 勝 子
委 員 大 塚 清
委 員 大 戸 井 美 生
委員(教育長) 坂 東 英 司
- 4 会議出席者
教 育 次 長 新 居 正 和
教 育 次 長 藤 本 功 男
教 育 総 務 課 長 三 浦 康 雄
学 校 教 育 課 長 大 倉 敏 美
(書記) 教 育 総 務 課 長 補 佐 上 田 美 智 代
- 5 付議事項
 - (1) 教育委員長の選挙について
 - (2) 教育委員長職務代理者の選任について
 - (3) 教育長の選任について
 - (4) 前回会議録の承認について
 - (5) 教育長の報告について
 - (6) 準要保護の認定について
 - (7) その他について

会議の概要は、次のとおり。

【大村委員】 定例会を開会する旨を告げる。

※委員長及び委員長職務代理者の任期満了につき、阿波市教育委員会会議規則第2条第3項により、大村委員が臨時に委員長の職務を行う。

(1) 教育委員長の選挙について

【大村委員】 事務局に説明を求める。

【三浦教育総務課長】 教育委員長の任期が6月30日で満了しているので、本日の定例会で、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条第1項の規定により、委員長の選挙をすることを説明する。また、選挙の方法については、阿波市教育委員会会議規則第2条第1項及び第2項により、無記名投票と指名推薦の方法があることを説明する。

〈質 疑〉

【大村委員】 無記名投票と指名推薦の方法があるが、どのようにしたらよろしいか。

【大塚委員】 指名推薦であるのがいいと思う。

【大村委員】 指名推薦という声があったが、よろしいか。

【各委員】 異議なし。

【大村委員】 指名推薦との意見があり、ご賛同いただいたので、そのようにさせていただきます。委員長の推薦をお願いしたい。

【大塚委員】 前職務代理者の安田委員さんを委員長に推薦したい。

【大村委員】 ほかの委員さんの意見はどうか。

【各委員】 異議なし。

【大村委員】 委員長は、安田委員に決定する。

(2) 教育委員長職務代理者の選任について

【安田委員長】 事務局に説明を求める。

【三浦教育総務課長】 教育委員長職務代理者の任期が6月30日で満了しているので、本日の定例会で、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条第4項の規定により、委員長職務代理者の選任をすることを説明。併せて、職務代理者の任期には規定がないので、委員長の任期に合わせ、1年とすることを提案する。また、選任の方法については、委員長の選挙に準じて、無記名投票と指名推薦の方法があることを説明する。

〈質 疑〉

【安田委員長】 委員長職務代理者の任期について、事務局から提案があったように、委員長と同じ1年とし、平成26年6月30日までとすることに決定してよろしいか。

【各委員】異議なし。

【安田委員長】異議なしであるので、委員長職務代理者の任期は1年とする。選任の方法は、無記名投票と指名推薦のどちらの方法がよろしいか。

【大戸井委員】指名推薦でお願いしたい。

【安田委員長】指名推薦という意見があったが、よろしいか。

【各委員】異議なし。

【安田委員長】指名推薦との意見があったので、そのようにさせていただく。委員長職務代理者の推薦をお願いしたい。

【大塚委員】重清委員さんをお願いしたいと思う。

【安田委員長】重清委員さんという意見があったが、みなさんどうだろうか。

【各委員】異議なし。

【安田委員長】委員長職務代理者は、重清委員に決定する。1年間、よろしく願いたい。

(3) 教育長の選任について

【安田委員長】事務局に説明を求める。

【三浦教育総務課長】前教育長が6月30日に任期を満了し退任されたので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第16条第2項の規定により、教育長の選任をすることを説明。選任の方法には規定がないこと、任期は同条第3項により委員としての任期中在任することを併せて説明する。また、教育長の候補となった委員は、自己の一身上に関する案件のため、同法第13条第5項の規定により議事に参加できないが、同項ただし書きに「教育委員会の同意があるときは、会議に出席し、発言することができる」と規定されていることを説明する。

〈質 疑〉

【安田委員長】候補者の会議への出席について、このまま全委員が会議に出席のうえで議事を進めたいと思うが、異議はあるだろうか。

【各委員】異議なし。

【安田委員長】では、候補者の退席は求めずに、このまま全委員出席で議事を進めていくこととする。選任の方法は、従来どおり指名推薦でお願いしたいと思うが、よろしいか。

【各委員】異議なし。

【安田委員長】異議なしなので、指名推薦をお願いしたい。

【大村委員】坂東英司教育委員さんを、推薦いたしたい。

【安田委員長】坂東委員さんという声があるが、皆さん、どうだろうか。

【各委員】異議なし。

【安田委員長】それでは、教育長は、坂東委員に決定する。よろしく願いいたしたい。

(4) 前回会議録の承認について

【安田委員長】事務局に説明を求める。

【新居教育次長】第2回定例会の会議録について説明する。

〈質 疑〉

なし

【安田委員長】「前回会議録の承認について」を承認する旨を告げる。

(5) 教育長の報告について

【安田委員長】教育長に報告を求める。

【坂東教育長】事務局に報告を一任する。

【新居教育次長】6月2日から7月1日までの、主だった教育委員会行事について報告。

〈質 疑〉

なし

【安田委員長】「教育長の報告について」を了承する旨を告げる。

(6) 準要保護の認定について

【安田委員長】事務局に説明を求める。

【大倉学校教育課長】平成25年6月1日現在の認定状況について、学校別準・要保護児童生徒数を基に説明。

〈質 疑〉

なし

【安田委員長】「準要保護の認定について」を了承する旨を告げる。

(7) その他について

【安田委員長】委員、事務局に何かあるか尋ねる。

【藤本教育次長】先月終了した今年度の学校訪問について、日程や訪問内容についての感想、来年度に向けての提案、共通確認をしておくべきこと等を協議願いたいと発言する。

〈質 疑〉

【大戸井委員】服装や髪型等に気を付けて見るようにしていた。2校ほどに、髪の毛の長い子どもがいた。中学校へ入ってからの指導に差し障りがないように、小学校のうちから、適正な指導ができたらと感じた。

集団登校・下校時の車での送り迎えの問題などもあるが、最近、他県での犯罪もあったので、集団登下校の在り方を今後も考えていかなければならない。

伊沢小学校のサッシにガムテープを貼って固定していたが、防犯上のことであるので、早急に対応できないものかと感じた。子どもたちがいない間の警備の在り方等も、一考する必要があるのではないかと思う。

【大塚委員】中学校で、ピアスをしている子どもがいた。学校側は、把握しているのか、それとも黙認しているのか、気になった。最近、生活態度等に特別問題がなければ、注意はしないのかと思った。

林小学校の算数の授業に関して、学年ごとの、年間を通しての取り組みや流れ等がよくわかり、工夫されていた。英語の時間については、子どもの態度や目の輝きが違うと感じた。難しいかもしれないが、ほかの授業にも、英語のような指導方法が取り入れられれば良いと感じた。

【大村委員】6月中に終わったのは、良かったと思う。去年は7月にまたがったが、新任の教育委員さんもいたので、いきなりの学校訪問も厳しいものがあったのではないかと思う。また、毎年、議会と重なるので、急遽予定が入り、出席者が少ない学校訪問もあった。

施設・設備等に関して、順番的に早い遅いはあるが、阿波市の子どもたちが、同じような教育環境の中で勉強できるように望みたい。支援学級について、人事のうえで大きな課題でもあるが、学校ごとの環境の差を感じた。複式学級での対応にも限界があるので、全体を見て取り組んでほしいと思う。

【重清職務代理】幼稚園について、民生委員、人権擁護委員、地域高齢者との交流によって、いろいろな経験や体験を通して、しっかり心や体が育っているように思う。どの園も直接体験を重視されていた。小学校へ上がる準備が、園の先生方の努力によって、きちんとされていたように思う。

ただ、先生方の経験年数が、園によって差があることが気になった。3園を一人の園長が統括しているために、普段は主任の先生の責任が大きいと思う。朝早くから預かり保育まで、日々の保育の準備等もあり、なかなか時間を取れないのが現状かもしれないが、少しでも時間を工夫して、園長先生と主任の先生が共通理解をしたうえで、若手の育成にも取り組んでほしい。

施設に関しては、土成中央幼稚園の手洗い場の排水を改善してほしいと思う。

各小学校では、校長先生を中心に、家庭学習の困難な児童に対して補充学習を

行ったり、放課後学習を実施し個別指導している学校、算数などの科目によっては習熟度別クラスに分けて学ばせたり、TT（チーム・ティーチング）により理解力アップに努めるなどされていた。これからも、さまざまな子どもたちに対して、工夫をこらして頑張ってもらいたいと思う。

英語活動の学習においても、しっかり定着しているように思う。林小学校での英語活動を見学したが、低学年でも英語で授業ができています。子どもも英語で答え、行動もできています。修学旅行時の積極的な外国人との会話によって、自信もつくだろうし、英語に対する興味や関心も増えると思われる。好きな科目の一つになってほしいと思う。

3カ所での給食の試食についてだが、盛り付け、味付け、栄養の点でも、子どもの成長に応じたものであってほしいと思う。野菜の好き嫌いはあるだろうが、もう少し工夫があってもいいのではないかと感じた。

久勝小学校の信号の危険箇所についてだが、警察に相談すればよいという話になっていると思うが、どうなったのかお聞きしたい。

土成小学校と市場小学校で、大々的に缶のプルタブ集めに取り組んでいたが、みんなで協力したことによって、わたしたち、ぼくたちのプルタブがこんな車椅子になるんだということで、役立つことの大切さを学ぶよい機会になっていると思う。できたら、いろいろな小学校でしていただけたらと思う。

施設関連では、御所小学校のグラウンドの水はけが改善されていない点、1階のベランダの板の間の防水対策をお願いできたらと思う。

土成中学校、吉野中学校とも、校長先生が今年度からの赴任であるにも関わらず、実態をしっかりと把握されていて、対応が的確にされていた。

各教室の入り口のブレースが危険なので、安全カバーを付けるなど、検討いただきたい。

吉野中学校のトイレの入り口が、同じうえに壁が薄くて、成長期の子どもにはよくないように感じた。改修のご配慮をいただきたい。

市場中学校の音楽室が、他校と違ってエアコンが必要な状況にあるようなので、検討いただきたい。

阿波中学校の学校評価は、職員全員の意見が反映されたものになっていたのも、他の学校でも、職員の意見が通る学校評価であったらよいと思う。

不登校の問題はたいへん難しいが、家庭、保護者の理解・協力の下、長い目で見守ることが大切であると思う。

全般的に感じたことだが、学校の登下校で、また校外などで、なにかあったとき、警察と連絡を密にとることが大切であると思うが、特に、報告・連絡をした場合、できるだけ、その後の経過について知らせていただきたいと思う。

不審者が、一条、土成でよく出ているが、一条小学校では、子ども見守り隊やステッカーの活用など努力されている。そういった対策を、地域の方、職員、保護者、警察との連携を密にしながら、安全対策の強化を図っていただきたい。

通学路の安全点検の徹底、危険箇所の再確認、街灯をつけてほしいという要望もあったが、それも検討いただきたい。

特別支援を要する子どもさんが、年々増えているということで、阿波市内に特別支援の学校があれば一番いいのであるが、現状は難しい。保護者の事情にもよって、普通の学校に通わせたいという希望があれば、それを受け入れなければならないということで、学校によって、しっかり支援の先生の加配がされているところと、これではと思うようなところがある。1日も早く、加配の検討をしていただきたいと思う。

いじめ対策として、学校での様子に気をつけるのはもちろんのことだが、アンケート結果やネット・携帯などの動向にも気を配るべきであると思う。学校・保護者がしっかり情報交換をしながら見守っていくことが大切である。

学校訪問のときに、タイルの剥がれがあったり、壁のペイントが剥がれていたりしたところを、早速に教育総務課長さんから指示をしていただいた。連絡をすれば早急に対応してくれる場合もあるのだから、学校側も学校訪問を待たずに、気がついたところは、学校側から教育委員会に連絡をしていただきたいと感じた。

大俣小学校の廊下の湿気が異常なので、よい対策を考えていただきたい。

小学校3年生から中学校まで、教室を見て思ったが、学習や生活に対する自分の目標を掲げている学校が多かった。目標に向かって努力する、責任ある行動、意識をもてるようになることにつながると思う。知識や心の向上に大切だと思うので、そういう意識を育ててほしい。

今後、各幼稚園・小学校・中学校に実施していただきたいこととして、幼稚園と小学校との交流を挙げたい。各幼稚園とも、小学校との交流がされていたが、もう少し交流を検討していただきたい園もあった。土成中央幼稚園では、御所小学校の5年生が徒歩で来園しているという話も伺っている。八幡小学校での公開授業の総合的学習の時間で、5年生が幼稚園の年長・年少さんといっしょに七夕飾りをつくっているのを見学した。園児は、お兄さんやお姉さんに、折り紙の折り方等を教えてもらっていた。また5年生の児童も、小さい弟や妹にやさしく教えている姿がとても楽しそうで、目を輝かせ、良い交流ができているように思った。幼稚園児が入学したとき、今の5年生が6年生としてお世話をするようになるので、よいつながりができているように思う。どの幼稚園においても、実施していただきたい交流だと思う。林小学校では、5年生が、幼稚園の教室などを毎日掃除をし、手伝いというかたちでの交流をしていたので、そういう関わりもよ

いと思う。

読むこと、書くことは、たいへん大切なことだが、視覚的にも集中力を高めるためにも、電子黒板の使用方法によって学力も向上するデータがでていっていると伺った。各小学校・中学校に1台ないし2台あるが、活用のしかたは、学校によって開きがあった。使用するのに、技術や研修が必要であるので、各学校の機器に詳しい先生方が、技術の交換など、共通理解を図ることが大切だと思う。柿原小学校の校長先生を主体として、広めていただきたい。

安全教育について、食物アレルギーの子どもさんが増えているということで、児童生徒のアレルギー疾患の症状を把握するとともに、久勝小学校のように、全職員がエビペンの使用方法を学んで、誰もが使用可能にすることも大切。伊沢小学校のように、授業参観を利用して、6年生と保護者に、人工呼吸や心臓マッサージ、AEDの操作方法について、実技講習会を行うのもよいと思う。

昨年、土成小学校で実施されていた、災害時の保護者の引き渡し訓練やメール配信システムは、他校にも広がってきている。連絡が早くできて、たいへんよいと思う。

今回の大俣小学校の訪問で、消防署・警察署といっしょに訓練されると聞いたが、なかでも煙体験は、全学校で可能であれば行っていただきたいと思う。

【安田委員長】 校長先生から受ける印象によって、学校のイメージも変わってくると感じた。柿原小学校の校長先生が電子黒板の使い方に長けていて、職員をいろんなところへ研修に連れて行くなどしている。その結果、あんなに素晴らしく電子黒板が活用されていて、たいへん印象的に感じた。それぞれ得意な分野があるとは思うが、ここの学校はこれがいいということ、市内全体に広げていただきたい。せっかくのいい機器なので、柿原小学校だけでなく、他の学校にも広がればと思う。先生同士で、「このソフトはどうですか」など言い合うような各学校の横のつながりを活かしてほしい。学校訪問で、この学校はこんないい取り組みをしているのに、どうしてこれが広がらないのだろうと思うことが、毎年ある。今年は、電子黒板の使い方については、柿原小学校の校長先生が先頭にたって、阿波市全体で広がっていけばいいと感じた。

支援学級についてだが、土成小学校の支援学級はたいへん厳しい状況にあると感じた。他の学校では整然とされていて、子どもさんも落ち着いていた。普段は、たいへんなときもあるだろうが、落ち着いて授業ができていると感じた学校がほとんどだった。土成小学校に関しては、いろんな手だてを講じているとは思うが、できるものなら早急な対処をお願いしたい。

今回、久しぶりに給食の試食があったが、実際に食べてみて、前から保護者からの不満があったことについて、なるほどと思うことがあった。子どもは毎日、

給食を食べるし、家庭の事情で晩ご飯も食べられない家もある。改善してほしいところがあれば、すぐに給食センターや教育委員会に伝えるなどしてほしい。この給食の件だけでなく、学校側からの要望等を伝えやすい窓口的な人や部署があればと思う。

支援学級をまとめればいいのではないかという提案が学校訪問のときに出たが、地元の子どもたちとのつながりを求める気持ちも大切にしてほしいと、個人的には思う。

子どもに問題が起これば、学校だけで抱えずに、補導センターや地元の民生委員さん、人権擁護委員さんなど、お願いしたら協力してくれる人がたくさんいるので、お手伝いを求めていると思う。いろんな人が学校に来て、いろんな交流をされているが、学校に来てくれている人は、お願いしたら学校にとっても協力的な人だと思う。問題が起こったときに、オープンにしていだけたら、対処の方法も出てくるのではと思う。

【大村委員】 幼稚園の件で、正規の先生と臨時の先生の割合、年齢層の偏りが気になっている。将来の園長候補を育てていくうえでも、中間層の先生が少ないのが心配だ。人件費のかかることではあるが、1名でも、2名でも、正規の職員を継続的に採用してほしい。去年まで担任をもっていた人がいきなり園長になるという、小学校や中学校とは管理職になるシステムが違うので、園長先生にふさわしいような人が育っていくような環境を、教育委員会としても配慮する必要があると感じる。英語活動も軌道に乗り、県下に誇れるような阿波市になっているので、幼稚園に対する充実度もさらに上げてほしいと希望する。

【坂東教育長】 私は、3年間教育現場を離れていたもので、今、委員さんの話を伺い、細かいところまでご覧いただいていたいへんありがたいことだと思った。また、いろいろなご意見を伺い、頑張っていきたいと思う。

【大戸井委員】 教育委員会の管轄ではないかもしれないが、大きな県道などに、学校への案内の看板がないところがあるので、考えただけならと思った。

【藤本教育次長】 学校訪問の日程だが、議会の日程と重ならないように調整しているが、どうしても重なる日が生じてしまう。6月中に終われたことは良かったと思う。

学校訪問とは、教育の現場を視察することによって、教育条件を整えていくことが大きな目的の一つだと思う。話にもあったように、格差が厳然とあるという状態は放置できないので、ハード面、ソフト面に関し、今後、教育長を筆頭に、市当局との交渉を進めていく必要があると思う。

教員の配置についても、基本的には県教委が学校訪問をして、各学校から上がってくる要望を聴きながら県教委が決定していくが、市も大いに関わっているの

で尽力したいと思う。

学校の横のつながり、広がりという話があったが、例えば、以前は、各学校のホームページ状況がバラバラだったが、今は整ってきている。メール配信も、広がってきている。学校から発信していくのは、学校をオープンにしていくという意味でとても重要なことなので、こういう方向をさらに強めていきたいと思う。

幼稚園の人材育成についてだが、現在、市の採用は、幼稚園教諭免許と保育士資格の両方をもっていることが条件となっている。また、今年も、新規職員を採用した。

関係機関との連携だが、どう連携していくのかということが、とても大事なことだと思う。

【大村委員】最近、教職員の不祥事が問題になっている。先程、電子機器の研修の話も出たが、学校訪問時に、小学校・中学校の日課表を見せてもらい、校内の研究授業や各行事・研修等で余裕のない状況が見て取れた。心に余裕があると、生活リズムのバランスがとれてくる。そういう気持ちで子どもに関わっていると、問題のある子どものすきんだ心も開けてくるのではないかと感じた。

【安田委員長】本日の議事が全て終了したので、閉会する旨を告げる。

閉 会

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成25年7月1日

委 員 長

委員長職務代理者

委 員

委 員

委 員

教 育 長

教育総務課課長補佐